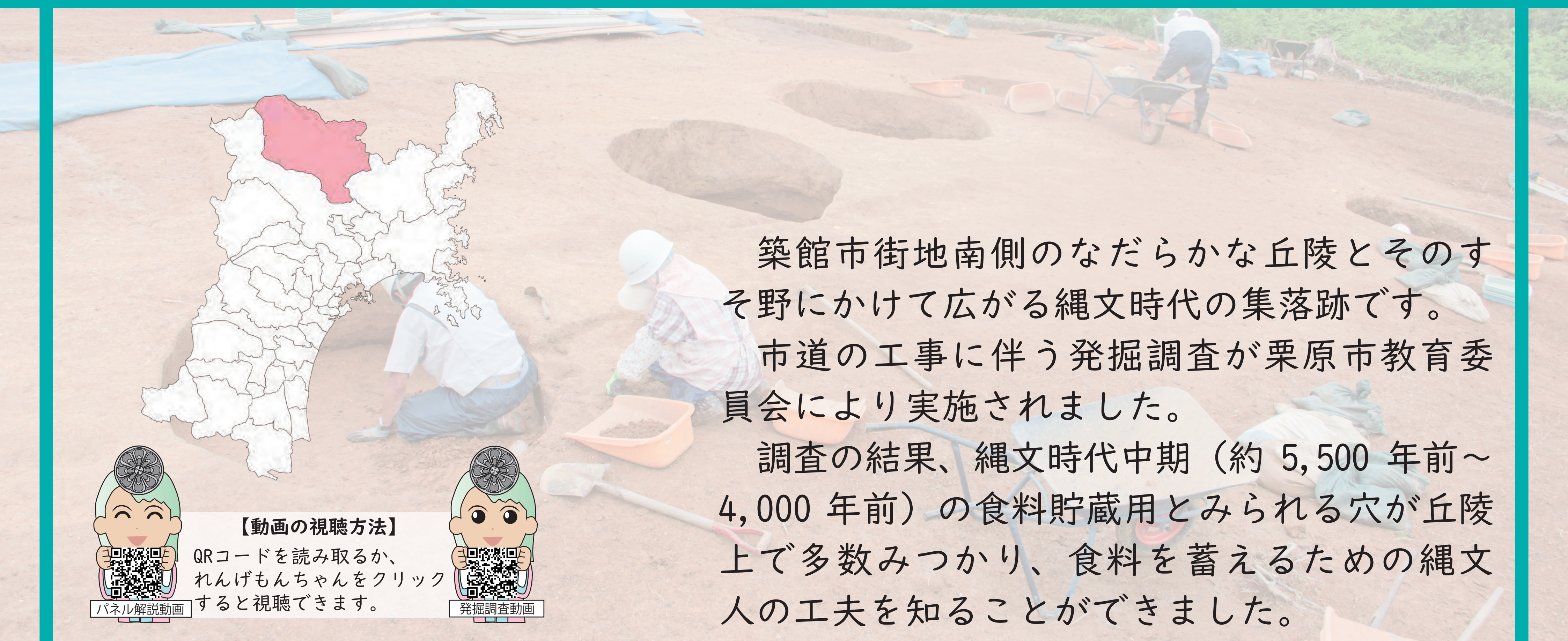




丘の上の食料倉庫

たかだやま ①高田山遺跡（栗原市築館高田）



【動画の視聴方法】

QRコードを読み取るか、
れんげもんちゃんをクリック
すると視聴できます。



パネル解説動画



発掘調査動画

旧石器

縄文

弥生

古墳

飛鳥

奈良

平安

鎌倉

室町

安土桃山

江戸

明治



南側の貯蔵穴群（南東から）

丸い形の穴が 19 基みつかりました。深さは最も深いもので 1.5m、底の直径は最も大きいもので 3.0m あります。このような穴がまとまってみつかるとは、縄文時代の遺跡に多くみられ、食料用の貯蔵穴と考えられます。



しゃがむと人がすっぽり入ってしまいます。



黒い土の部分が穴の断面です。上が狭くて下が広い袋状の形が特徴です。



袋状の形は、穴の中の温度や湿度を一定に保つ効果をねらって作ったと考えられているんだ。



貯蔵穴として使われなくなったあと、穴の底に捨てられたとみられる縄文土器もみつかります。

協力：栗原市教育委員会